

- このスライドは、非営利かつ個人的な目的に限り閲覧することができます。
The following presentation slides are shared with symposium participants exclusively for personal, non-commercial, educational purposes.
- このスライドの著作権は、講演の発表者本人に帰属します(図表等の引用箇所は除く)。如何なる国・地域においても、また紙媒体やインターネット・電子データなど形態に関わらず、スライドの全部または一部を無断で複製、転載、配布、送信、放送、貸与、翻訳、販売、変造、二次的著作物を作成すること等は、固く禁止します。
Copyright of these slides belongs to the presenter and/or the Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University (except figures, tables, etc., cited from other sources). It is strictly prohibited to reproduce, reprint, distribute, transmit, broadcast, loan, translate, sell, modify, and/or create derivatives of any slides, in any physical or electronic medium anywhere in the world.
- このスライド英語版は国際シンポジウム事務局による仮訳です。正本は日本語版となります。
The Japanese-language slides, as shown during the symposium presentation, best reflect the author's intent. English translations by the symposium secretariat should be regarded as provisional and for reference purposes only.

2024年 福島県立医科大学『県民健康調査』国際シンポジウム
公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター
国際シンポジウム事務局(広報・国際連携室)

✉ kenkani@fmu.ac.jp Tel: 024-581-5454(平日9~17時)

2024 Fukushima Medical University International Symposium on the Fukushima Health Management Survey

Secretariat of International Symposium

Office of Public Communications and International Cooperation, Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University

✉ kenkani@fmu.ac.jp, TEL: +81-24-581-5454 (Weekday, 9a.m. - 5 p.m. JST)

福島の子どもたちへの心理的影響とそのケア

2024年3月2日

福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム

福島学院大学

内山登紀夫、川島慶子

大正大学

鈴木さとみ

はじめに



2011年3月

2018年～

1
歳半
健診

3
歳半
健診

こども(保護者回答)

- ・身体とこころの発達
- ・日常生活の自立
- ・養育環境

保護者

- ・メンタルヘルス
- ・生活/避難状況など

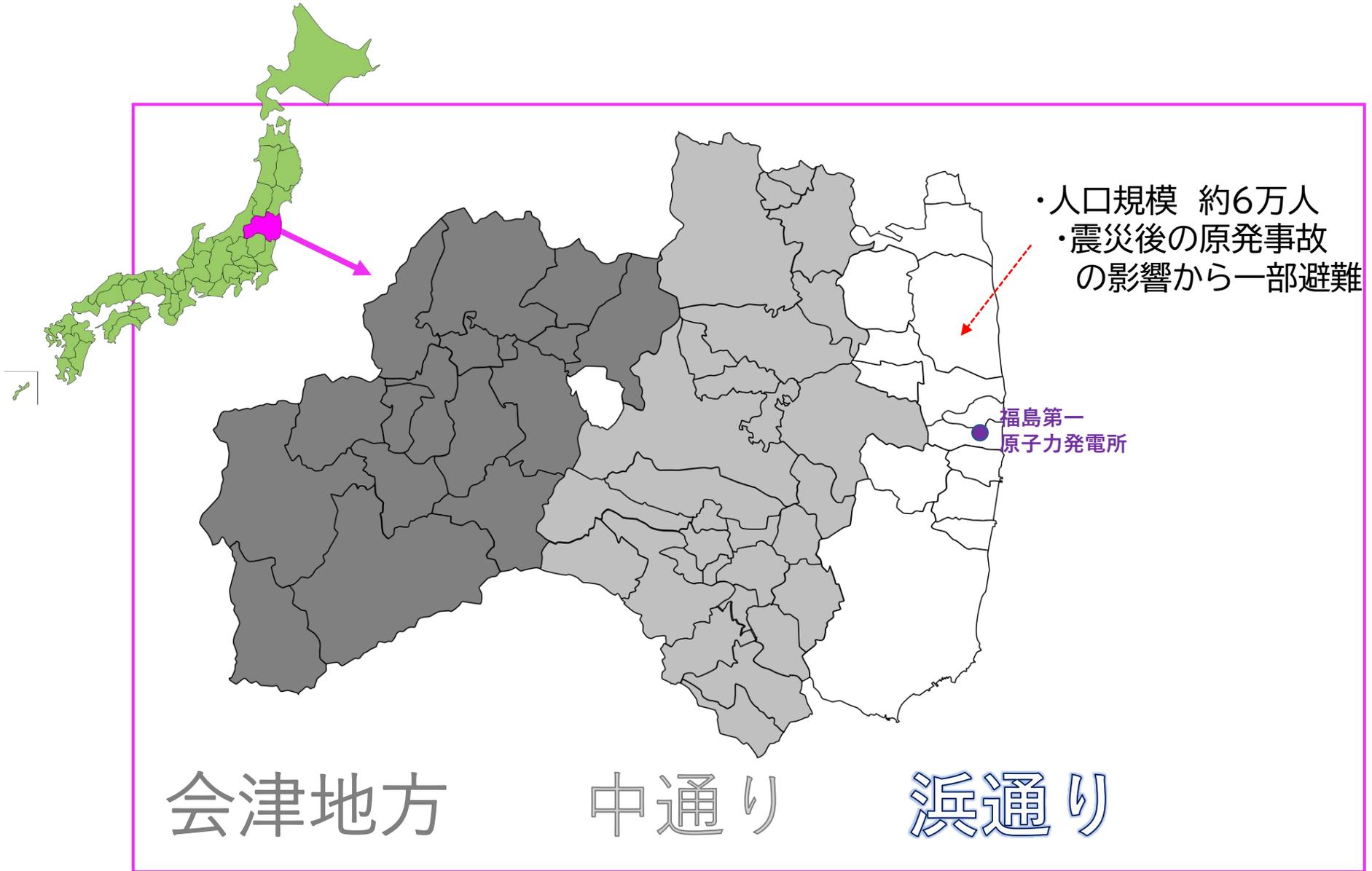
小学生アンケート

こども(保護者回答)

- ・情緒・行動
- ・配慮や支援の必要

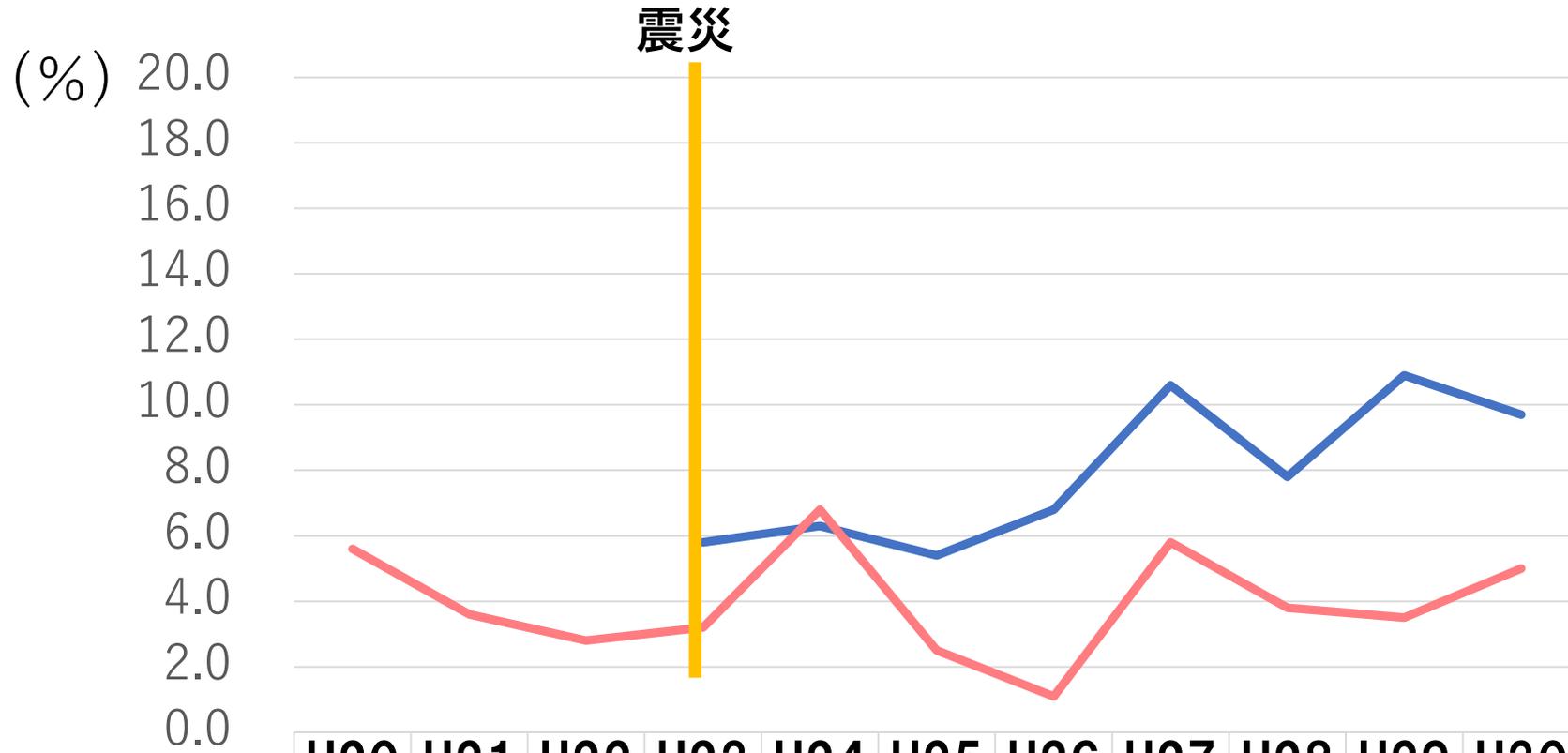
保護者:

- ・メンタルヘルス
- ・生活/避難状況など



1歳半健康診査

保護者回答:ことば・指差し (1歳半健診)



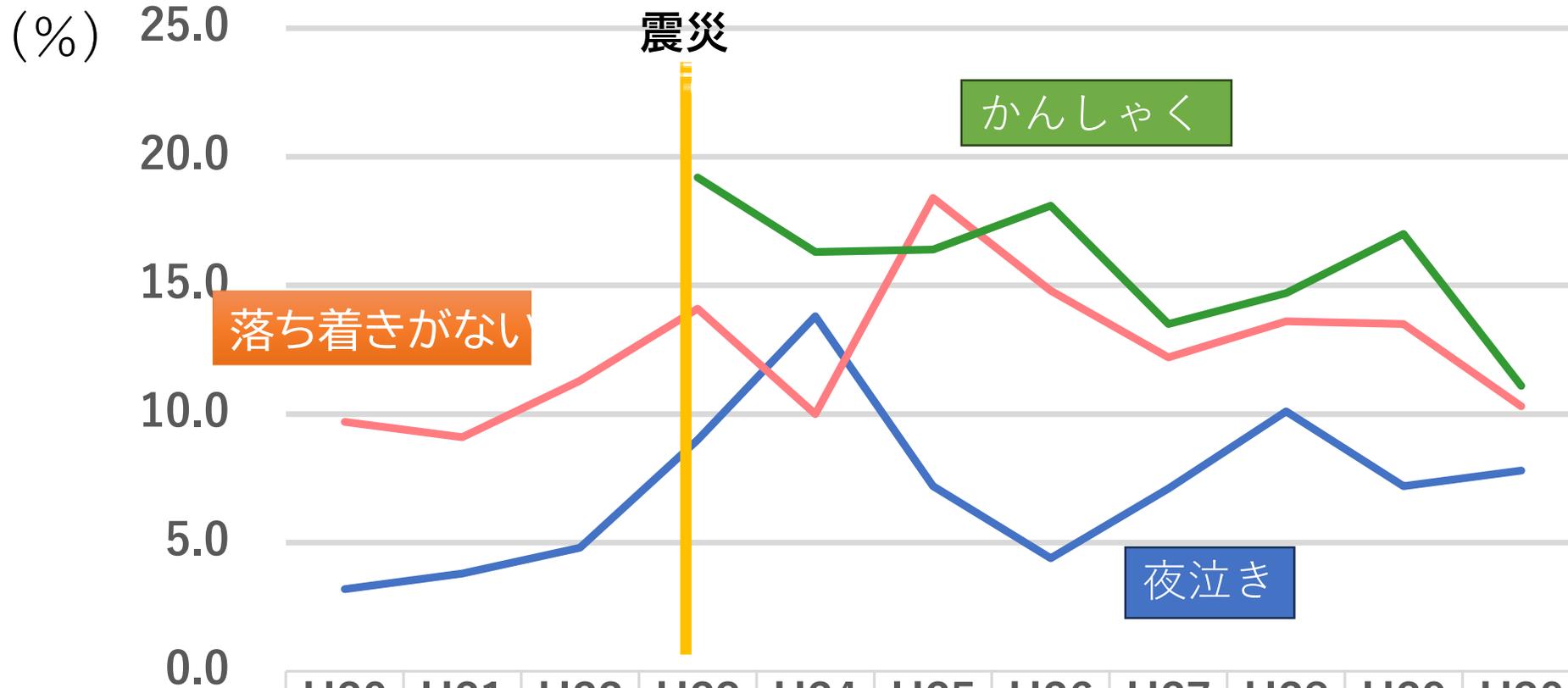
年度	総数
H20	503
H21	584
H22	539
H23	156
H24	162
H25	203
H26	270
H27	311
H28	344
H29	374
H30	358

— ママ・パパ以外に意味のある言葉をいくつか話すか (いいえ)

— 絵本などを見て知っているものを指すか (いいえ)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ママ・パパ以外に意味のある言葉をいくつか話すか (いいえ)				5.8	6.3	5.4	6.8	10.6	7.8	10.9	9.7
絵本などを見て知っているものを指すか (いいえ)	5.6	3.6	2.8	3.2	6.8	2.5	1.1	5.8	3.8	3.5	5.0

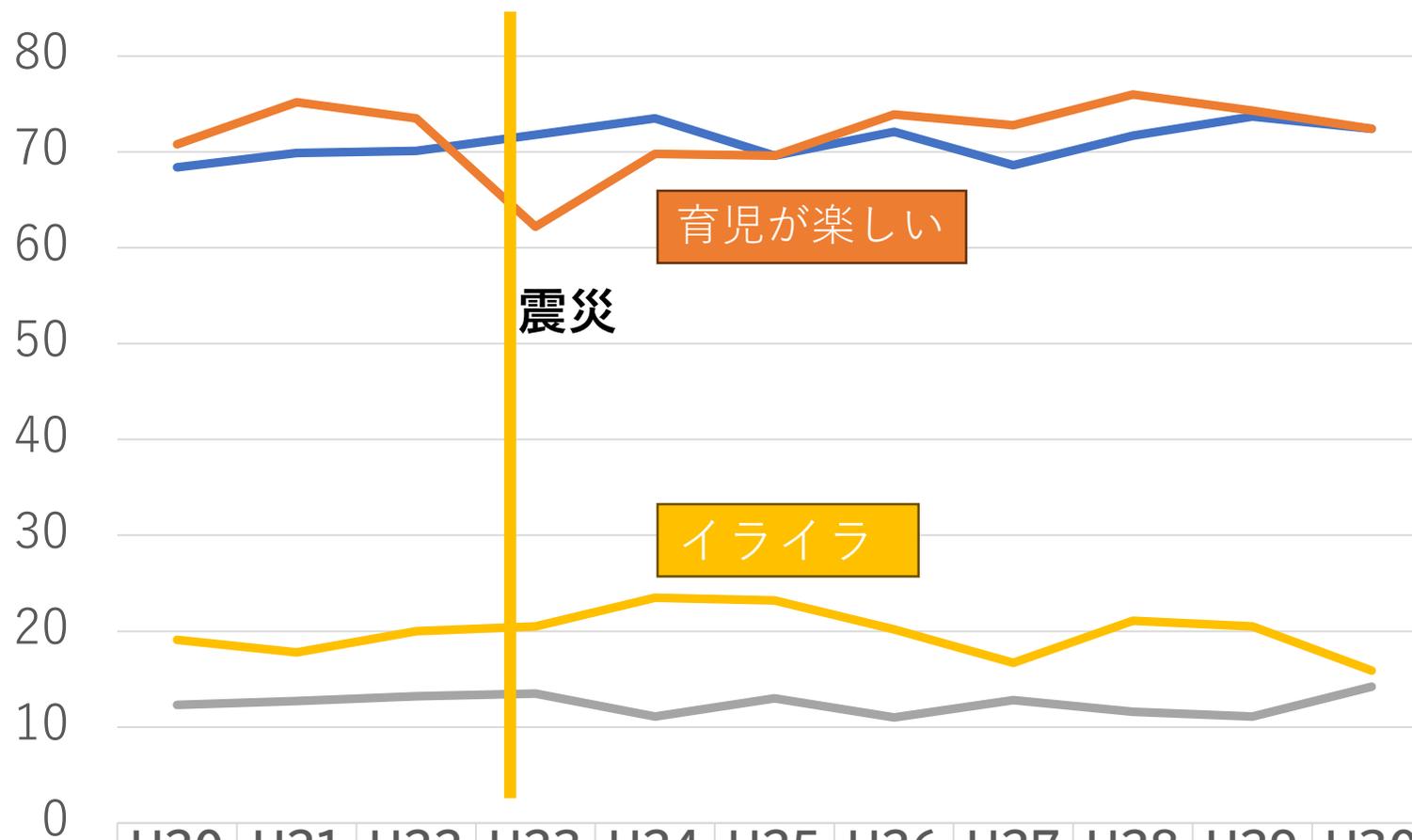
保護者回答:こどもの行動 (1歳半健診)



年度	総数
H20	503
H21	584
H22	539
H23	156
H24	162
H25	203
H26	270
H27	311
H28	344
H29	374
H30	358

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
—夜泣き	3.2	3.8	4.8	9.0	13.8	7.2	4.4	7.1	10.1	7.2	7.8
—落ち着きがない	9.7	9.1	11.3	14.1	10.0	18.4	14.8	12.2	13.6	13.5	10.3
—かんしゃく				19.2	16.3	16.4	18.1	13.5	14.7	17.0	11.1

保護者回答:保護者の気持ち (1歳半健診)

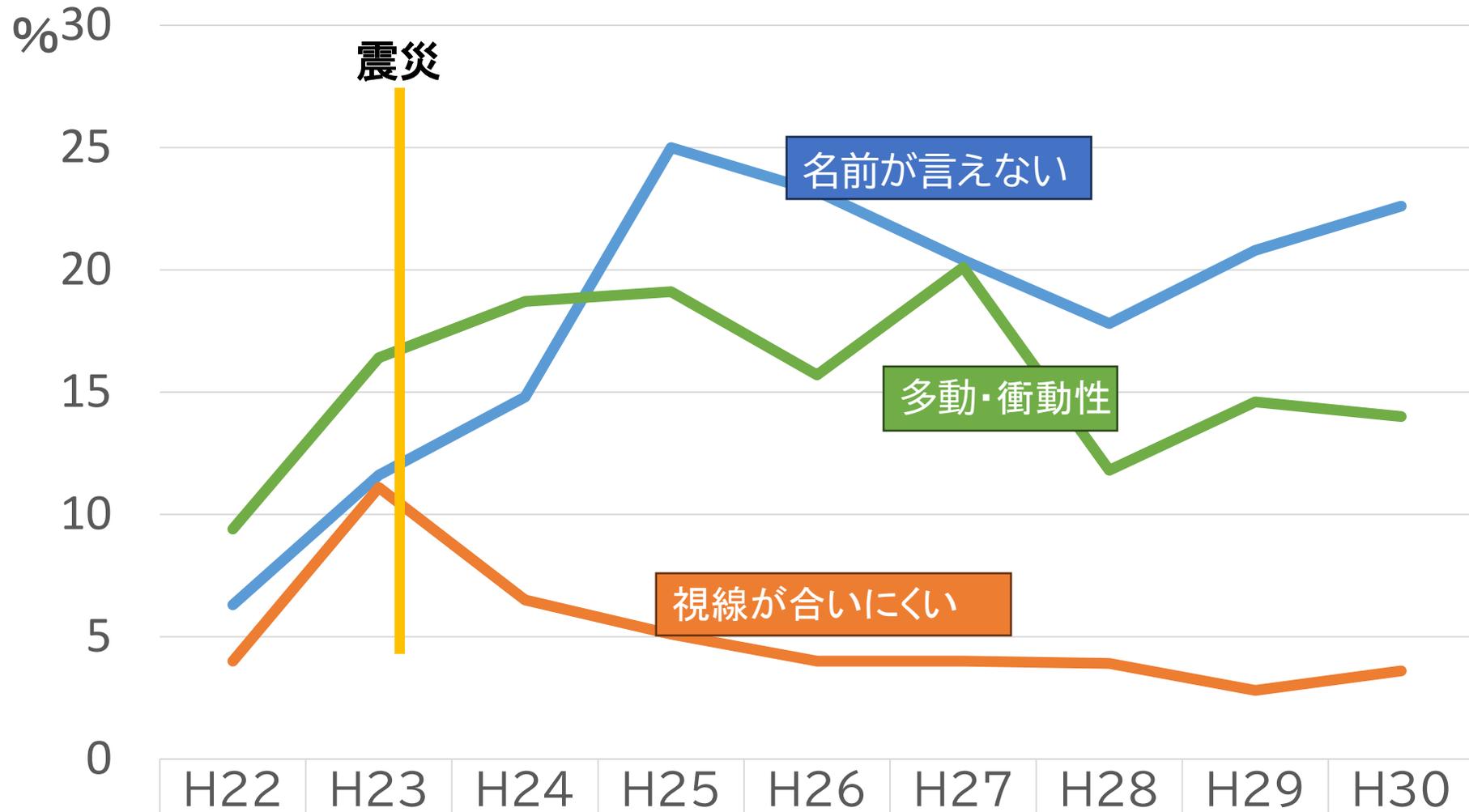


年度	総数
H20	503
H21	584
H22	539
H23	156
H24	162
H25	203
H26	270
H27	311
H28	344
H29	374
H30	358

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
— 毎日楽しい(いいえ)	68.4	69.9	70.1	71.8	73.5	69.6	72.1	68.6	71.7	73.7	72.4
— 負担が増えたが育児は楽しい	70.8	75.2	73.5	62.2	69.8	69.6	73.9	72.8	76.0	74.3	72.4
— 負担が増え疲れる	12.3	12.7	13.2	13.5	11.1	13.0	11.0	12.8	11.6	11.1	14.2
— よくイライラする	19.1	17.8	20.0	20.5	23.5	23.2	20.2	16.7	21.1	20.5	15.9

3歳半健康診査

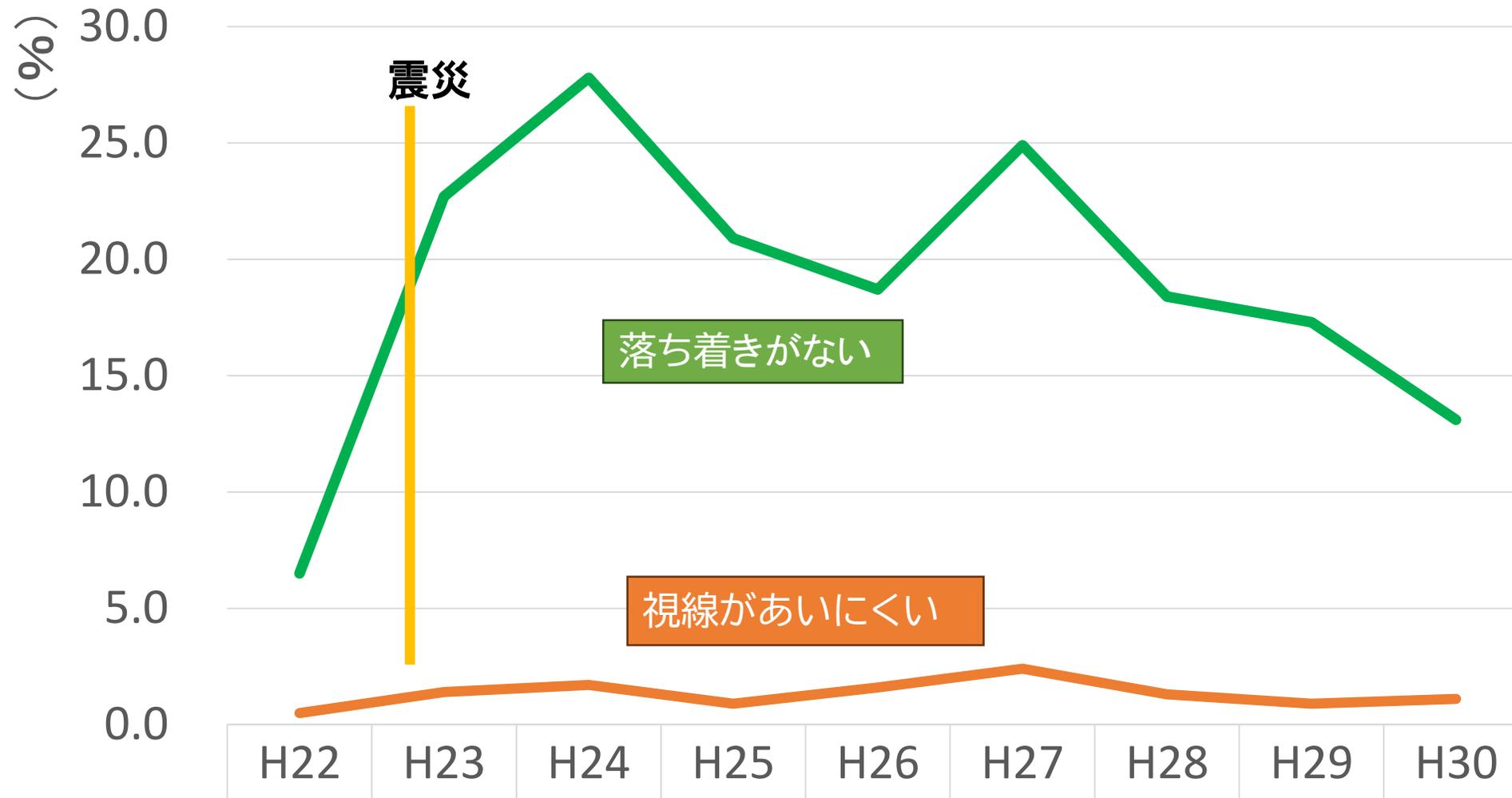
保健師見立て (3歳半健診)



年度	総数
H22	505
H23	207
H24	230
H25	215
H26	249
H27	298
H28	304
H29	356
H30	358

名前が言えない	6.3	11.6	14.8	25	23.2	20.4	17.8	20.8	22.6
視線が合いにくい	4	11.1	6.5	5.1	4	4	3.9	2.8	3.6
多動・衝動性	9.4	16.4	18.7	19.1	15.7	20.1	11.8	14.6	14

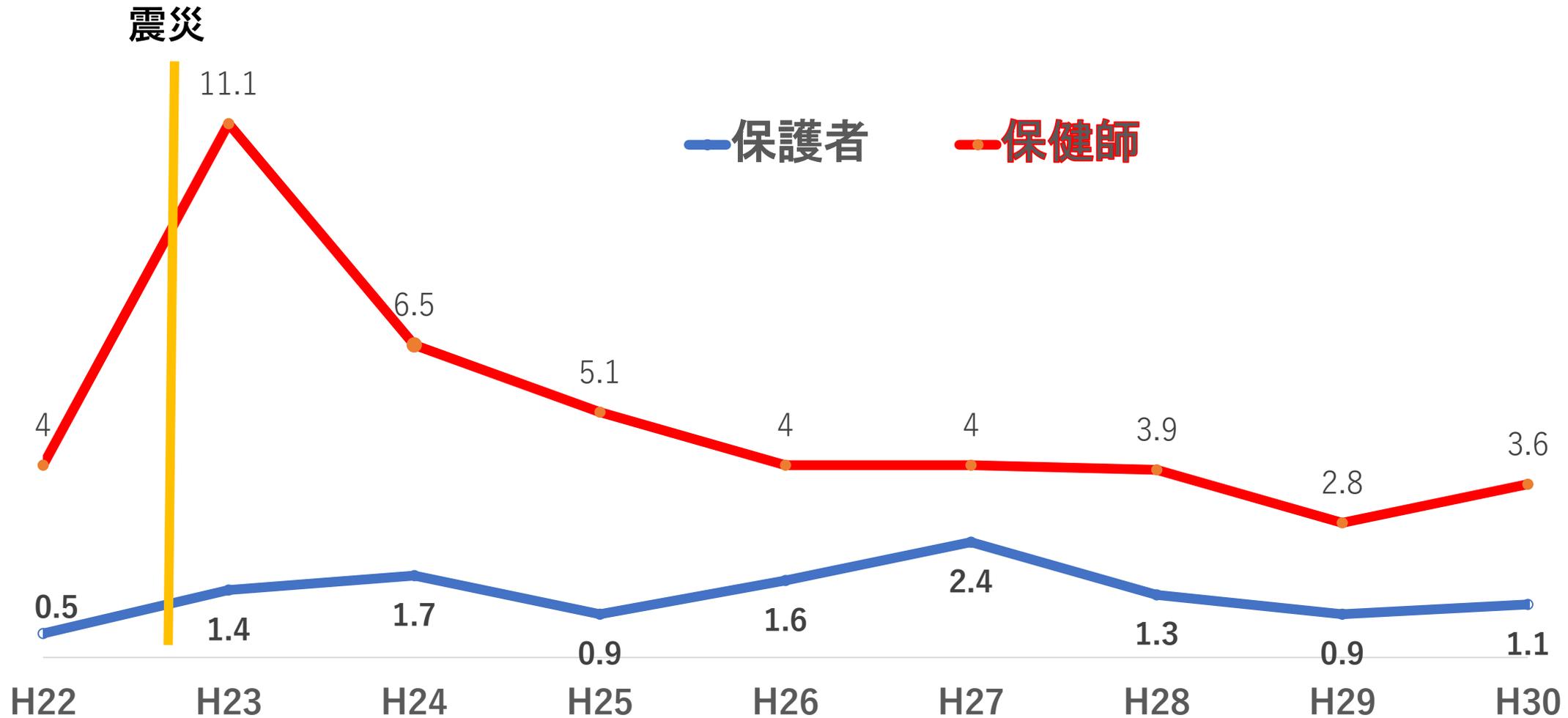
保護者回答：気になる子どもの行動（3歳半健診）



年度	総数
H22	505
H23	207
H24	230
H25	215
H26	249
H27	298
H28	304
H29	356
H30	358

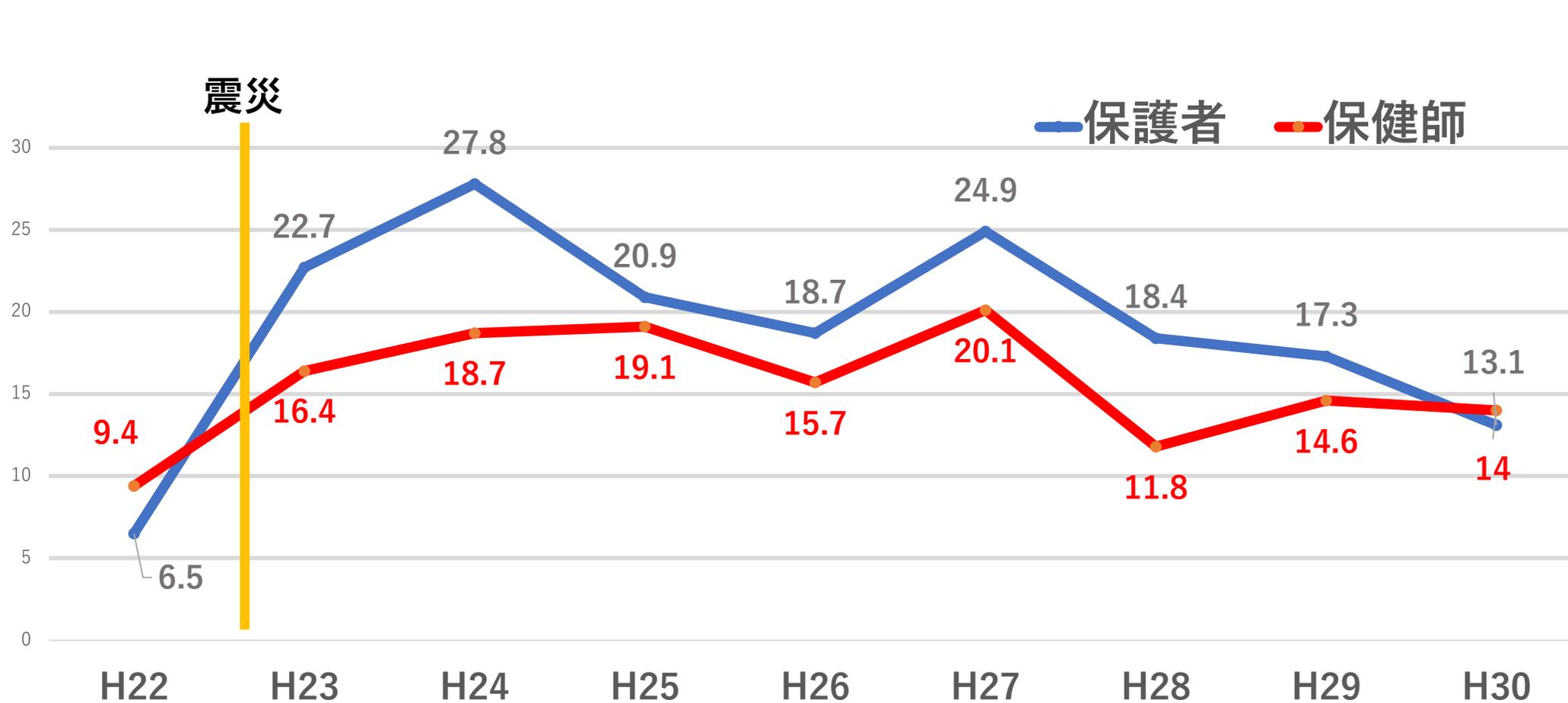
— 視線が合いにくい	0.5	1.4	1.7	0.9	1.6	2.4	1.3	0.9	1.1
— 落ち着きがない	6.5	22.7	27.8	20.9	18.7	24.9	18.4	17.3	13.1

視線が合いにくい子どもの割合（3歳半健診）



年度	総数
H22	505
H23	207
H24	230
H25	215
H26	249
H27	298
H28	304
H29	356
H30	358

多動・衝動性/落ち着きがない (3歳半健診)



年度	総数
H22	505
H23	207
H24	230
H25	215
H26	249
H27	298
H28	304
H29	356
H30	358

乳幼児健診の結果から

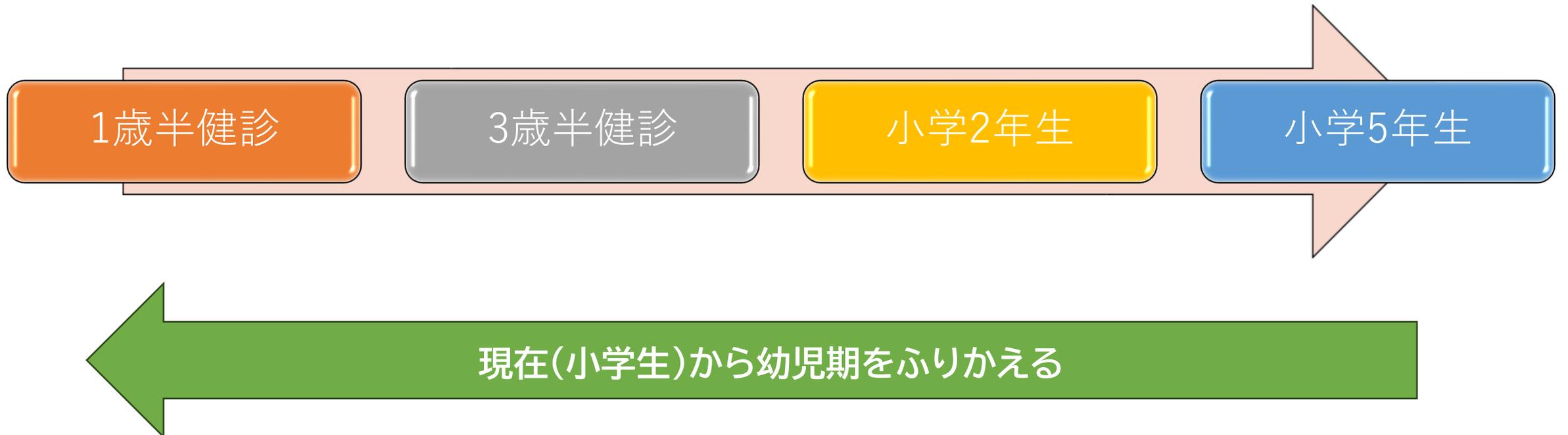
- 1歳半健診:子どもの言語発達上の問題
- 3歳半健診:落ち着きのなさや言語発達、日常生活スキル獲得の遅れのある子どもが増加し、その状況が8年以上継続している。
- なぜ？
- 問題はいつまで続く？そのうちおさまる？
- 学童期には、どのような行動特徴があるのか？ 例)落ち着きのなさは続くのか？
- どのように対応すれば良いのか？

小学生アンケート

2019年～2021年に実施

対象

学年	出生時期	震災を経験した年齢	回収数	1歳半健診・3歳半健診との紐づけ数
2年生	2010年4月から2013年3月	出生前から1歳	258	139
5年生	2007年4月から2010年3月	1から4歳	256	100



方法

◆後ろ向きコホート研究

- 分析方法：多重ロジスティック回帰分析（SPSS Statistics ver.26）

- 分析内容：

- 1) 使用するデータ

小学生追跡調査（2年生・5年生）	1歳半健診	3歳半健診
<p>①フェイスシート （性別、年齢、医療、福祉、教育上の支援の有無等）</p> <p>②日本語版子どもの強さと困難さアンケート （Strength and Difficulty Questionnaire：SDQ）</p> <p>③うつ病・不安障害のスクリーニング調査票 （K6）</p> <p>④健康関連QOL（SF-8／SF-12）</p> <p>⑤子育て環境</p> <p>⑥震災時の避難状況</p>	<p>1歳半乳幼児健診問診票</p> <p>（指さし・有意語の有無、言葉の理解、保護者のメンタルヘルスなど）</p>	<p>3歳半乳幼児健診問診票</p> <p>（言葉の発達、多動、日常生活の自立、保護者のメンタルヘルスなど）</p>

まとめ

震災時

SDQの困難度に影響していた要因

小学2年生



- 3歳半健診時の子どもの情緒の問題
- 保護者の全体的健康感の低さ
- 生後からの長期間にわたる避難生活

小学5年生



- 3歳半健診時、現在において、母親が周囲からのサポートが不足していると認識している

今後の課題

- 小学校で支援ニーズの高い親子は幼児期から兆候がある
 - →本来早期介入が可能なはず
- サポート不足と感じている母親には、どのようなサポートが必要なのか、どのようにサポートを届けるかの明確化
- 少ないサポート資源を、支援が必要な親子に届けるためのシステム作り
- そのために、支援が必要な親子を見極めることが大切
 - 現状では乳幼児健診のデータと学童期のデータを紐づけるのが困難
 - 追えるデータが少ない(1学年20人から50人程度)
 - 支援のための効率的なデータ蓄積が必要

- このスライドは、非営利かつ個人的な目的に限り閲覧することができます。
The following presentation slides are shared with symposium participants exclusively for personal, non-commercial, educational purposes.
- このスライドの著作権は、講演の発表者本人に帰属します(図表等の引用箇所は除く)。如何なる国・地域においても、また紙媒体やインターネット・電子データなど形態に関わらず、スライドの全部または一部を無断で複製、転載、配布、送信、放送、貸与、翻訳、販売、変造、二次的著作物を作成すること等は、固く禁止します。
Copyright of these slides belongs to the presenter and/or the Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University (except figures, tables, etc., cited from other sources). It is strictly prohibited to reproduce, reprint, distribute, transmit, broadcast, loan, translate, sell, modify, and/or create derivatives of any slides, in any physical or electronic medium anywhere in the world.
- このスライド英語版は国際シンポジウム事務局による仮訳です。正本は日本語版となります。
The Japanese-language slides, as shown during the symposium presentation, best reflect the author's intent. English translations by the symposium secretariat should be regarded as provisional and for reference purposes only.

2024年 福島県立医科大学『県民健康調査』国際シンポジウム
公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター
国際シンポジウム事務局(広報・国際連携室)

✉ kenkani@fmu.ac.jp Tel: 024-581-5454(平日9~17時)

2024 Fukushima Medical University International Symposium on the Fukushima Health Management Survey

Secretariat of International Symposium

Office of Public Communications and International Cooperation, Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University

✉ kenkani@fmu.ac.jp, TEL: +81-24-581-5454 (Weekday, 9a.m. - 5 p.m. JST)